

国際シンポジウム

## 上海フランス租界の記憶と記録： グローバル・ヒストリーの入り口として

フランスの外交政策と民間（教育者、芸術家、宣教師など）の文教活動に焦点を当て、上海フランス租界（1849—1943）を舞台とした国際的な文化交流の諸相を検討します。

日時： 2026年3月6日（金）10:00～18:00

会場： 早稲田大学 26号館大隈記念タワー地下1階ホール

[https://www.waseda.jp/fpse/gse/assets/uploads/2014/11/waseda\\_map\\_26.pdf](https://www.waseda.jp/fpse/gse/assets/uploads/2014/11/waseda_map_26.pdf)

形式： 対面開催、日本語、通訳なし

申込： 事前登録制、参加費無料

参加をご希望の方は、以下の URL または QR コードからアクセスして、3月4日（水）までにお申し込みください（先着 100 名）。

お申し込み先 URL は以下の通りです。

<https://forms.gle/zMjUqqMBGG4QSYC96>



### プログラム：

9:30 受付開始

10:00 開会挨拶・趣旨説明 野澤 丈二

中国における研究動向 趙 怡

### 第1部：統治のメカニズム

10:20～12:00

ディスカッサント：藤森 晶子（歴史ジャーナリスト）

1. 「上海の2つの租界：共同租界とフランス租界」  
藤田 拓之（大阪産業大学）
2. 「上海フランス租界とフランス外務省：駐上海総領事の外交書簡を中心に」  
学谷 亮（中央大学）
3. 「中国におけるパリ外国宣教会（MEP）の Procure（プロキュール）の役割と沿革：  
上海を中心に」  
ル・ルー清野 ブレンダン（法政大学）

12:00～13:00： 昼休み

## 第2部：語られた上海、描かれた租界

13:00～14:40

ディスカッサント：郭 南燕（明治大学）

4. 「Le Journal de Shanghai（『法文上海日報』）が報じたモダン上海：1933年日曜特集を中心に」  
趙 怡（関西学院大学）
5. 「英字新聞に見るアリアンス・フランセーズの活動」  
野澤 丈二（早稲田大学）
6. 「日本人「老上海」が見たフランス租界」  
榎本 泰子（中央大学）

休憩（10分）

## 第3部：移動する人たちの記憶

14:50～16:30

ディスカッサント：吉川 弘晃（明星大学）

7. 「シャルル・グロボワと沈仲俊：芸術、教育界における協働（1919～1950）」  
井口 淳子（大阪音楽大学）
8. 「日露中仏の音楽界を結んだ指揮者：A. スルツキーの音楽活動の軌跡」  
森本 頼子（名古屋音楽大学）
9. 「上海アルメニア人コミュニティと西洋食」  
二村 淳子（関西学院大学）

休憩（10分）

16:40 総合討論

17:40 総括 二村 淳子

18:00 終了

主催： 科学研究費助成事業 基盤研究(B) 24K00102

「上海フランス租界（1849－1943）の文教活動に関する多言語で領域横断的な研究」  
（2024～2026年度 研究代表者：野澤丈二）

お問い合わせ： nozawa [アットマーク] waseda.jp

プロジェクト HP： <https://fazujie2024.wixsite.com/fazujie>

